

千葉県立図書館の今後の在り方検討事業

- 1 業務の目的 老朽化が著しい中央図書館を含めた県立図書館について、市町村立図書館との連携方策やインターネットを活用したサービスの充実など県立図書館として求められる役割・機能、施設整備の方向性などを検討する。
- 2 業務の期間 平成 29 年 9 月 4 日から 12 月 28 日まで
- 3 業務の概要
 - (1) インターネットを活用した図書館サービスの導入・充実に関する調査・分析
 - (2) 市町村立図書館との連携方策における先進モデルの調査・分析
 - (3) 県立図書館の整備体制別のコスト面の比較検討
- 4 業務の内容
 - (1) 都道府県立図書館のサービス提供実態調査
 - ・千葉県立図書館を除く各都道府県立図書館のうち、中央館・本館 46 館にメールでアンケート調査票を送付し、43 館から回答を得た
 - ・実施期間は、平成 29 年 10 月 13 日から 10 月 27 日まで
 - ・調査テーマは、「公立図書館における電子書籍サービスの導入」、「既存資料のデジタル化とインターネット公開」、「予約・検索・貸出システム」「市町村立図書館の職員研修・運営相談」、「県内公共図書館の図書資料の相互貸借と搬送システム」、「図書資料の収集と保存における役割分担」
 - (2) 電子書籍サービスの導入・充実に関する調査
 - ・電子書籍サービスを導入している市区町村立図書館 63 館に対し、電子メールまたは郵送でアンケート調査票を送付し、50 館から回答を得た
 - ・実施期間は、平成 29 年 10 月 11 日から 10 月 24 日まで
 - (3) 他都道府県立図書館のヒアリング・現地調査
 - ・先進的な取組みを行っている他の都道府県立図書館等へのヒアリング・現地調査を実施
 - ・調査対象は京都府立京都学・歴史館、岡山県立図書館、奈良県立図書情報館、滋賀県立図書館の 4 館
 - (4) 県立図書館の体制別のコスト試算
 - ・平成 30 年から平成 59 年までの期間で発生すると見込まれる県立図書館のコスト全般について、3 館体制を維持した場合と、2 館体制または 1 館体制に機能集約した場合とで、試算を行い、コスト面の優位性の検討を行った
 - ・1 館体制－中央建替 (10,000 m²)、2 館体制－中央廃止・西部/東部を改修・増築、3 館体制－現状維持